

市議会の動き

6月21日に招集された第2回定例会の中から、7月1日、2日の代表質問の主な内容についてお知らせします。

部活動改革、自転車ネットワークの形成

ふじた としひと 藤田 稔人 自由民主党



本市では札幌市立学校に係る部活動の方針の策定や、部活動指導員の大幅増員など、部活動改革を進めてきましたが、学校には教育課題が山積しており、教職員は多忙な状況です。部活動改革を進めるに当たり、これまで指導してきた教職員の思いを受け止めつつ、学校の負担軽減につなげるという視点が重要ですが、どのように考え、取り組んでいきますか。

部活動は、豊かな人間性を育む機会となるなど、教育的意義の高いものと認識していますが、一方で、教員の負担となっている面もあり、さらなる改革が必要と考えています。まずは、休日の部活動の指導と運営を民間事業者に委託するモデル事業を実施するなど、専門的な指導による活動の充実を図りつつ、教員の負担軽減にも努めます。今後は、これまでの取り組みや、部活動に関わる方の意見を踏まえ、子どもたちの夢や希望に寄り添い、質の高い活動の機会を保障できるよう取り組んでいきます。



策定に向けて検討中の自転車活用推進計画には、自転車通行空間の整備推進を盛り込むと聞いていますが、より多くの自転車利用が見込め、安全利用に対する意識がさらに高まると思われる自転車ネットワークの拡大についても盛り込むべきだと考えます。計画の検討では、自転車ネットワークの形成をどのように考えていますか。

自転車活用推進計画では、都心部で進めている矢野根型路面表示を、地域交流拠点や自転車ネットワークの途切れた区間に拡大することなどを検討しています。これにより、自転車ネットワークを拡充し、既存のサイクリングロードの活用を一層進めるとともに、自動車や歩行者にとっても安全で快適な道路環境の提供を目指します。

子どもの生活実態調査、定山渓地区への支援

あおい ひろみ 民主市民連合



本市が策定している子どもの貧困対策計画について、本年度は次期計画の策定に向け、子どもの生活実態調査を実施することとありますが、実効性のある計画につなげるためには、適切な調査方法の設定が不可欠です。子育て世帯の生活や意識の変化を的確に把握し、分析することが求められますが、本年度の調査はどのように実施しますか。

10月実施予定のアンケート調査では、子どもと保護者を合わせて1万人以上に対し、前回調査した就業や家計、子どもの学習や居場所などに加え、新型コロナウイルス感染症の影響など子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた調査項目を想定しています。また、支援団体や困難を抱える子どもへのヒアリングも実施することで、アンケート調査だけでは捉え切れない生活実態を把握していきます。

定山渓温泉では、新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンドの消滅や国内宿泊客の減少が続いており、観光関連事業者が大きな影響を受けています。観光庁による既存観光拠点の再生・高付加価値化に関する補助事業や、経済産業省の事業再構築補助金など、国の補助制度の状況にも鑑み、今後どのように定山渓地区を支援していきますか。

※訪日外国人旅行または訪日外国人旅行者のこと

これまで、本市の宿泊促進キャンペーンのほか、定山渓観光協会が行う宿泊促進や感染拡大防止の取り組みへの支援を行いながら、老朽化した観光関連施設の整備などの課題への対応について、地域と意見交換を重ね、丁寧に進めてきました。今後は地域の事業継続に資する支援を行い、感染状況を注視しながら集客促進策を機動的に進め、景観改善や富裕層対応など温泉地の魅力を高める施設整備について、国の事業の活用も図りながら進めます。



集団接種会場の整備、新しい公園の在り方

もりやま ゆみこ 森山 由美子 公明党



ワクチンの集団接種については、予約が埋まっている現状に鑑みると、よりスピード感をもった接種機会の確保と、身近な場所で接種できる環境の整備が急務だと考えます。11月末までに希望する全市民が接種を完了できるよう、今後どのように集団接種会場の整備を進めますか。

これまでの3つの集団接種会場に加え、地理的なバランス、地下鉄からのアクセス、自家用車での来場が可能であることなどの利便性を考慮し、つど一むを第4会場として、本年7月17日からの開始に向けた準備を進めています。今後は、ワクチンの確保に努めつつ、より地域に密着した会場の検討も進めます。



障がいの有無にかかわらず、全ての子どもが使用でき、一緒に遊べて、交流の場にもつながる公園を整備することは、誰もが共生できる住みよい街を実現するとともに、世界都市・札幌の魅力向上にも資すると考えます。このようなインクルーシブの考え方に基づく公園整備について、どのように考えていますか。

乗り継ぎ環境の改善は、対応すべき課題であると認識しており、天候の影響を受けない快適なバス待ち環境の実現に向け検討しているところです。また、真駒内駅周辺には一般送迎車両のための乗降スペースがなく、路上での駐車が多いことが課題となっているため、専用の乗降スペースの設置を検討しています。



五輪開催の是非、真駒内駅の乗り継ぎ環境

ちば なおこ 日本共産党



来日した選手団員の新型コロナウイルス感染症の感染が確認され、東京2020オリンピック競技大会の開催には感染リスクを一層高める危険性があると裏付けられました。わが会派は、大会を開催するべきではないと市長へ要請してきましたが、開催の是非・賛否を政府に伝えたことがありますか。また、デルタ株の拡散により医療崩壊の危機が予測される中で開幕を迎えることが懸念されますが、いかがですか。

知事との連名で組織委員会に提出した要請書や記者会見を通じて、コロナ禍での大会の意義や具体的な感染対策を市民・国民に十分説明し、感染対策をしっかりと講じた上で、安全に大会を開催するよう求めてきました。

地下鉄南北線真駒内駅は南区の中継拠点であり、他の始発駅と比較してバス乗り継ぎ利用客の割合が高いのが特徴ですが、バス乗り場は冬期間は風雪に晒され、身体に障がいのある方や高齢の方にとって大変危険です。本年度中に策定予定である真駒内駅前地区のまちづくり計画の案では、バス乗り場は屋内型の待合施設とされていますが、南区の特徴として、車での送迎も欠かせないことから、一般送迎用の乗降スペースも必要だと考えます。これらどのように改善する予定ですか。

乗継ぎ環境の改善は、対応すべき課題であると認識しており、天候の影響を受けない快適なバス待ち環境の実現に向け検討しているところです。また、真駒内駅周辺には一般送迎車両のための乗降スペースがなく、路上での駐車が多いことが課題となっているため、専用の乗降スペースの設置を検討しています。

臨時会

7/12に第7回臨時会を、7/26に第8回臨時会を、8/2に第9回臨時会を開催しました。

【可決した議案】

○令和3年度一般会計補正予算 飲食店等感染防止対策協力支援費追加のため、第7回臨時会では総額51億7,400万円を、第8回臨時会では総額101億8,000万円を、第9回臨時会では総額87億4,200万円を補正するものです。以上、いずれの臨時会でもそれぞれ1件の議案を可決しました。

委員会の主な活動状況

(7/11～8/10)

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策に係る報告について危機管理対策室から説明を受け、質疑を行いました。また、「新型コロナウイルス感染拡大で苦しむ介護事業所への支援を求める陳情」および「医療機関、介護事業所の新型コロナウイルス感染対策強化に関する陳情」の審査を行い、継続審査としました。(7/14)

第3回定例会のお知らせ

本会議

令和3年第3回定例会は9/17(金)から10/28(木)まで開催され、各会派の代表質問は、9/27(月)から3日間行われる予定です。

決算特別委員会

令和2年度の本市の決算について、局ごとに審査します。
日程：9/29(水)、10/6(水)、8(金)、12(火) 14(木)、18(月)、20(水)、22(金)、26(火)
※審議日程は変更になる場合があります。

お知らせ

さっぽろ市議会だより 令和3年第2回定例会の内容をまとめたNo.131を配布しています。代表質問や採択態度一覧など、市議会の動きを詳しく掲載しています。

<配布場所>

市役所1階ロビー、2階市政刊行物コーナー、区役所、まちづくりセンター、北洋銀行など



■編集 札幌市議会事務局 政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai